

スパイクバックス®筋注(2価)の 接種を受ける方へ

1回目・2回目接種(初回免疫)または3回目以降の接種(追加免疫)としてスパイクバックス筋注(1価)の接種を受ける方は、本冊子ではなく「スパイクバックス®筋注(1価)の接種を受ける方へ」をご覧ください。

この冊子は、新型コロナウイルスワクチン「スパイクバックス筋注(2価)」の接種を受けた方、または、接種を受ける予定のある方とご家族など、一緒に暮らしている方々に知っておいていただきたい情報を掲載しています。お住まいの自治体からのご案内や情報とあわせてご確認ください。

※以下「スパイクバックス筋注(2価)」を本ワクチンと言います



接種前の注意点

※接種を受けるごとに内容を確認し、該当する方はに✓をつけておきましょう

以下に該当する方、該当すると思われる方は、必ず接種前に医師に申し出てください

本ワクチンを接種できない方

- 明らかに発熱(通常37.5℃以上)している方
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- 過去にスパイクバックス筋注(1価)および本ワクチンを接種した時にショック、アナフィラキシーがあらわれた方
- 過去にスパイクバックス筋注(1価)および本ワクチンに含まれている成分で重度の過敏症*のあった方
*：アナフィラキシー、全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸(どうき)、息苦しい、血圧低下などのアナフィラキシーを疑わせる複数の症状
- 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態であると判断した方

本ワクチンの接種に注意が必要な方

- 血小板減少症や凝固障害のある方、または抗凝固療法を受けている方
- 過去に免疫に異常があると診断されたことがある方や両親や兄弟に先天性免疫不全症の方がいる方
- 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の病気や発育の障害などの基礎疾患のある方
- 今までに、予防接種を受けて2日以内に発熱があった方や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある方
- 過去にけいれんを起こしたことがある方
- 本ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれがある方
- 腎機能障害のある方
- 肝機能障害のある方
- 妊婦または妊娠している可能性がある方、妊娠の計画がある方、授乳されている方
 - 予防接種の有益性(授乳婦では母乳栄養の有益性も)が危険性を上回ると判断された場合にのみ接種を受けてください。
- 高齢の方
 - 「ご自身の健康状態」を接種前の診察時に忘れず伝えましょう。

本ワクチンの接種対象外の方

- 18歳未満の方
 - 18歳未満を対象とした臨床試験は実施していません。
- 過去に初回免疫または追加免疫として新型コロナウイルスワクチンの接種歴のない方

これら以外にも接種前に注意していただきたいことがあります。必ず、3ページをご覧ください。

医療機関名

COVID-19 やワクチン接種後の注意点などは、
モデルナ・ジャパン株式会社 新型コロナウイルスワクチン情報サイトで確認できます。
URL <https://takecarecovid19moderna.jp>

moderna モデルナ・ジャパン株式会社



本ワクチンについて

本ワクチンは、特例承認[※]されたワクチンのため、本ワクチンによる新型コロナウイルス感染症の予防や副反応について得られている情報は限られています。接種前に、接種担当医師などから本ワクチンの説明を受けてください。

※ 特例承認とは：

外国で本ワクチンが既に対象となる病気の予防に用いられており、かつ、国民の生命および健康に重大な影響を与えるおそれのある病気のまん延や健康被害の拡大を防止するために緊急の使用が必要な医薬品について、厚生労働大臣が専門家の意見を聴いたうえで、承認申請資料のうち臨床試験以外のものを承認後の提出としても良い等として、特例的な承認をする制度です。

- 本ワクチンは接種された方の新型コロナウイルス感染症を予防するワクチンです。
- 既存のワクチンの追加接種による予防効果は、オミクロン株^{※1}などの変異株の世界的な流行によって低下しています。本ワクチンは起源株の mRNA^{※2}に加え、オミクロン株の mRNA が含まれた、オミクロン株対応のワクチンです。

※1 ウイルスは常に進化しており、感染力の強い変異株などが発生するリスクがあります。オミクロン株では感染や伝播性の上昇、発症間隔の短縮、潜伏期間の短縮などがみられます¹⁾。

※2 mRNA：メッセンジャー RNA

1) 診療の手引き作成委員会．新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第 7.2 版 [https://www.mhlw.go.jp/content/000936623.pdf]

- 他人への感染予防効果は評価されていません。
- 接種後も基本的な感染予防対策（マスクの着用、密集・密接・密閉の回避、手洗いや咳エチケットなど）を行ってください。
- 接種後に副反応（発熱や倦怠感、痛みなど）があらわれる可能性を考慮して、接種当日や翌日の予定を立てることをお勧めします。

本ワクチンのはたらき方

本ワクチンには、新型コロナウイルスが人に感染する時に重要な働きをするウイルスタンパク質（スパイクタンパク質：Sタンパク質）の設計図（mRNA^{*}）が含まれています。起源株の mRNA に加え、オミクロン株の mRNA が含まれているのが特徴です。

<新型コロナウイルス感染症が予防されるしくみ>

- 1 本ワクチンの接種により mRNA が細胞に届けられると、mRNA をもとに細胞内で S タンパク質が作られます。
- 2 作られた S タンパク質は、私たち自らの身を守る「免疫」システムにより異物として認識されます。その結果、S タンパク質を標的にした抗体などの防御システムが作られます。一方、mRNA は体内で分解されて消滅します。
- 3 作られた抗体などの防御システムは、同じ S タンパク質を持つ新型コロナウイルスに対しても作用することができます。この防御システムにより、新型コロナウイルス感染症を予防することができるようになります。

* mRNA：メッセンジャー RNA

本ワクチンを接種する前の注意点

本ワクチンを安全に接種していただくために重要な項目です。

◎以下に該当する方は、必ず、接種前に医師に申し出てください。

- 表紙をみて、本ワクチンの「接種ができない方」「接種に注意が必要な方」「接種対象外の方」に該当する方
- 医薬品でアレルギー反応の経験のある方
- 食物アレルギーのある方
- アレルギー疾患のある方
- 予防接種に緊張したり注射針や痛みに対して不安がある方
- ワクチンの接種について何らかの不安がある方

◎原則、体調が良い時にワクチン接種を受けましょう。

いつもと体調が違う、なんとなく調子が悪い方は、必ず、接種前に医師に申し出てください。

希望者は無料で接種できます

スパイクボックス筋注（2価）の接種は、国および地方自治体による新型コロナウイルスワクチン接種事業の一環として行われます。

- ◎希望者は無料で接種できます（公費負担）。
- ◎本ワクチンは、初回免疫*（1回目、2回目接種）を終えた方が、追加免疫**として3回目以降から接種できるワクチンです。
- ◎本ワクチンを接種できるのは、前回の接種から少なくとも5ヵ月経過した18歳以上の方です。

本ワクチンの接種会場や接種できる医療機関、接種時に必要な物、その他ワクチン接種に関する情報については、お住まいの自治体からの案内をご確認ください。また、ご不明な点があれば、お住まいの自治体（市町村区）へお問い合わせください。

*初回免疫（1回目、2回目接種）：初めて新型コロナウイルスワクチンを接種すること

**追加免疫（3回目以降の接種）：初回免疫を完了した方が、再度、新型コロナウイルスワクチンを接種すること

本ワクチンの接種スケジュール

初回免疫*を終えた方でも、新型コロナウイルス感染症にかかることがあります。理由は様々ですが、時間の経過とともに免疫効果が低下していくことなどが要因の一つと考えられます。

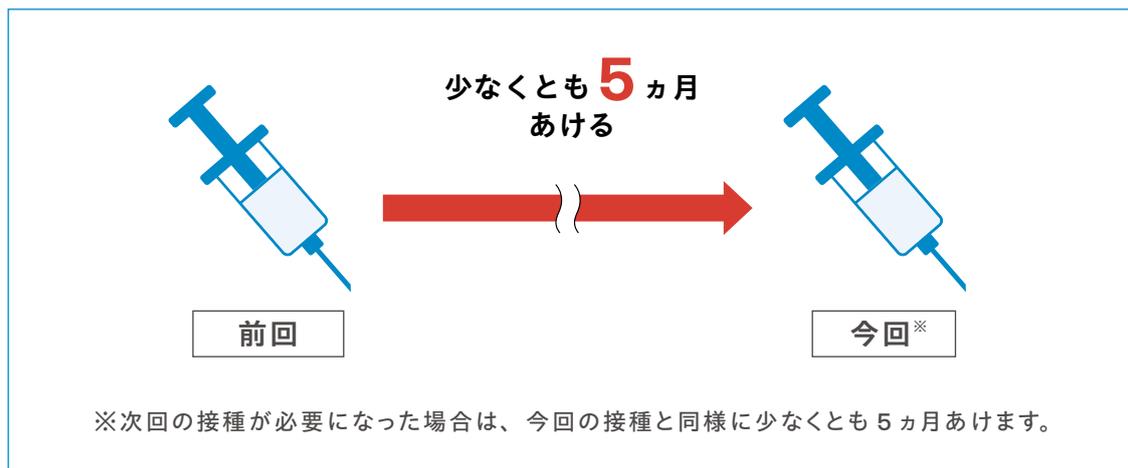
そこで、再度、免疫効果を高めるために接種を行うのが追加免疫**です。

*初回免疫（1回目、2回目接種）：初めて新型コロナウイルスワクチンを接種すること

**追加免疫（3回目以降の接種）：初回免疫を完了した方が、再度、新型コロナウイルスワクチンを接種すること

- 本ワクチンは3回目以降から接種できるワクチンです。
- 接種対象者：前回の接種から少なくとも5ヵ月経過した、18歳以上の方

今までに新型コロナウイルスワクチンを接種した後に副反応や、ふだんと変わったことがあらわれた方は、その症状や程度によって追加免疫として本ワクチンの接種を受けて良いか、受けない方が良いかの判断が必要です。このような方は、自分で判断せず、接種前に、必ず、医師に相談してください。



接種後すぐにあられるかもしれない副反応

ワクチン接種直後～30分以内にあらわれるかもしれない副反応

□ ショック、アナフィラキシー

接種直後～通常30分以内に起こる重度のアレルギー反応です。

本ワクチン接種後にもあらわれたとの報告（頻度不明）があるため、十分ご注意ください。

このような症状や何か異常を感じたら、ただちに、接種会場の医師、看護師に伝えてください。

<主な症状>

- | | |
|-------------------|----------------|
| ● 全身：冷汗が出る、ふらつき | ● 頭部：めまい、意識の消失 |
| ● 顔面：顔面蒼白（そうはく） | ● 口や喉：喉のかゆみ |
| ● 胸部：動悸（どうき）、息苦しい | ● 手・足：手足が冷たくなる |
| ● 皮ふ：全身のかゆみ、じんま疹 | |

□ 血管迷走神経反射

ワクチン接種に対する緊張や痛みなどをきっかけに誰でも起こりうる体の反応です。

通常、横になって休めば自然に回復します。

<主な症状>

- | | | |
|---------|----------|--------------|
| ● 立ちくらみ | ● 血の気がひく | ● 気を失う（失神する） |
|---------|----------|--------------|

本ワクチン接種後は…

- 接種後、15～30分程度は接種医療機関（会場）の施設内などで、背もたれのある椅子に座るなど、ゆったりとした気持ちでお待ちください。これらの症状や何か異常を感じた場合には、ただちに、接種会場の医師、看護師などにお伝えください。
- これらの副反応は接種後30分以上経過した後にも起こることがあります。お待ちいただいた後でも、上記のような症状や、いつもと違う体調の変化や異常を感じた場合は、すみやかに接種を受けた医療機関などの医師や看護師、あるいはかかりつけ医に連絡してください。

※お待ちの間も感染対策をお願いいたします

- マスクをする
- とりのりの人との距離をとる
- 会話を控える など



接種日以降にあらわれるかもしれない副反応

□ 心筋炎、心膜炎

本ワクチンの接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあります。

以下のような症状があらわれた場合は、心筋炎や心膜炎が疑われますので、すみやかに医師の診察を受け、本ワクチンを接種したことを伝えてください。

● 胸の痛み ● 動悸（どうき） ● むくみ ● 息切れ ● 浅くて速い呼吸 など

□ 注射部位症状：

注射した場所の痛み・腫れ（硬さ）・発赤・紅斑、注射した同じ腕側のリンパ節（わきの下あたり）の痛み・圧痛・腫れ

本ワクチンを接種された方の約 9 割の方に何らかの注射部位症状があらわれることが報告されています。

2 回目の接種をした後にあらわれる場合では重めの症状が多くなる傾向があります。追加免疫として接種（3 回目の接種）した後の場合では 2 回目の接種時と同程度の症状がみられます。

これらの症状は、多くの場合、接種後 1～2 日以内にあらわれますが、稀にこれよりも遅く（概ね 1 週間）あらわれることもあります。

□ 全身症状：

発熱、頭痛、疲労、筋肉痛、関節痛、はき気・嘔吐、悪寒

1 回目の接種の時では 5 割の方に、2 回目では 8 割の方に何らかの全身症状があらわれることが報告されています。

2 回目の接種をした後にあらわれる場合では重めの症状が多くなる傾向があります。追加免疫として接種（3 回目の接種）した後の場合では 2 回目の接種時と同程度の症状がみられます。

これらの症状は、多くの場合、接種後 1～2 日以内にあらわれますが、稀にこれよりも遅く（概ね 1 週間）あらわれることもあります。

全身症状の多くは軽く、1～3 日で消失しますが、高熱やけいれんなどの異常な症状があらわれた場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。

なお、注射部位症状や全身症状は高齢者よりも非高齢者に、また、男性よりも女性に多くあらわれる傾向があります。

これらは、本ワクチン接種によりあらわれる副反応のすべてではありません。

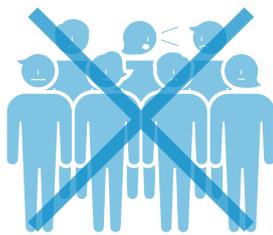
本ワクチンを接種した後、特に数日間、ご自身の健康や体調の変化に注意し、ふだんと変わったことがあった場合は、医師に相談してください。



※万が一、本ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による予防接種健康被害救済制度があります。お住まいの各自治体（市町村区）に相談してください。

接種後の過ごし方

- ❑ 本ワクチン接種後は、前のページ（6ページ）に書いてあるような副反応の発現に注意してください。そして、高熱やけいれんなどの異常な症状があらわれた場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。
- ❑ 注射した部分は清潔に保つようにしてください。
- ❑ 接種当日の入浴に特別な問題はありませんが、接種当日を含め、接種後に体調がすぐれない場合は無理をせず様子を見てください。また、注射した部分を強くこすらないようにしてください。
- ❑ 接種当日の激しい運動は控えてください。
- ❑ 本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策（マスク着用、密集、密接および密閉の回避、手洗いや咳エチケットなど）が必要です（他の人へ感染させない効果はわかりません）。





Q1

新型コロナウイルスワクチンの接種を受ければ 感染予防対策はしなくてよいですか？

A

ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、ワクチンを受けた方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、引き続き、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いいたします。具体的には、「3つの密：密集・密接・密閉」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行などをお願いいたします。

Q2

ウイルスのタンパク質を作る基になる遺伝情報を体に投与すると、 将来の身体への異変は心配ありませんか？

A

本ワクチンの主成分である mRNA（メッセンジャー RNA）は、体内に入って数日間で分解され、mRNA の情報が長期に残ったり、遺伝子に影響を与えることはないと考えられています。

Q3

ワクチン接種を受ける前や受けた後に気をつけることは？

A

●接種を受ける前

原則としてワクチン接種は体調が良い時に受けましょう。体調に不安がある方、医薬品でアレルギー反応の経験のある方、食物アレルギーやアレルギー疾患のある方、予防接種に緊張したり注射針や痛みに対して不安がある方など、接種に際し何らかの不安がある方は接種前に必ず医師に相談してください。

●接種を受けた後

稀にワクチン接種に対する緊張や痛みをきっかけに気を失う（失神する）ことがあります。

失神による転倒を防ぐためにも、接種後 30 分程度は体重を預けられる場所（例：背もたれや肘掛けのある椅子で体重を預けて座るなど）でなるべく立ち上がらないようにしてください。また、ワクチンの接種によりショックやアナフィラキシーなどの重いアレルギー反応が起きることがあります。医療機関内にいることですぐに対応できます。しばらくの間は接種を受けた医療機関などの施設内にいるようにしましょう。

Q4

過去に他のワクチンや医薬品、食品、化粧品に対してアレルギー反応が出たことがありましたが本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A

事前にかかりつけ医に相談するか、接種当日、予診票にできる限り詳しく記入し、医師に相談しましょう（アレルギーを起こしたことがあるものを事前に書き出しておきましょう）。

Q5

妊婦（妊娠している可能性がある）が、本ワクチンの接種を受けても問題ないですか？

A

医師と相談し、予防接種上の有益性が、危険性を上回ると判断される場合にのみ接種を受けてください。

Q6

授乳中の場合、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A

医師と相談し、予防接種上の有益性および母乳栄養の有益性が、危険性を上回ると判断される場合にのみ接種を受けてください。



Q7 小児や乳幼児に対して本ワクチンの接種は必要ですか？

A 本ワクチンの接種対象は、18歳以上の方です。追加免疫における18歳未満の方への有効性、安全性は確立していません。

Q8 新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチンの接種に関するお知らせを確認するにはどのようにすればよいですか？

A 厚生労働省のホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/>) に新型コロナウイルスやワクチンについての情報が公表されています。また、ワクチン接種の詳細については、お住まいの各自治体（市町村区）にお問い合わせください。

Q9 ワクチンの副反応の心配はありますか？

A ワクチンの接種によって、副反応が起きることがあります。気になる症状、いつもと違う体調の変化が認められた場合には、すみやかに医師などにご連絡ください。万が一、ワクチンの接種によって健康被害が生じた場合には、国による予防接種健康被害救済制度がありますので、お住まいの各自治体に相談してください。

Q10 若年の男性で心筋炎や心膜炎があらわれる頻度が高いとのことですが、10代・20代の若者、特に男性は、ワクチンを打たない方がよいということですか？

A 日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも新型コロナウイルス感染症の発症予防効果が認められており、重症化の予防効果も報告されています。海外だけではなく、日本においても感染が拡大した時期に、若者の感染者の増加が確認されていることを考慮の上、ワクチン接種についてもご検討ください。

ワクチン接種は、あくまでも本人の意思に基づき受けていただくものです。ご本人が納得した上で、接種をご判断ください。

Q11 **新型コロナウイルス mRNA ワクチン接種後にみられることがあるギラン・バレー症候群について教えてください。**

A ワクチン接種との因果関係はわかりませんが、ワクチン接種後に、筋力が低下する等のギラン・バレー症候群（GBS）を発症した事例が報告されています。

ワクチン接種後に、両手・両足に力が入らない、物がつかみづらい、手足の感覚がにぶくなった、顔の筋肉がまひする、食べ物がのみ込みにくい、呼吸が苦しい等がみられた場合は、すみやかに医師の診察を受け、本ワクチンを接種したことを伝えてください。

Q12 **美容などを目的に、過去にヒアルロン酸などの皮膚充填剤を注入（フィラー治療）したことがある人の注入部位周辺にみられる「腫れ」について教えてください。**

A 海外において、皮膚充填剤との関連性はわかりませんが、皮膚充填剤を注入したことのある方が新型コロナウイルス mRNA ワクチンを接種した後に、皮膚充填剤を注入した部位の周辺（特に顔面）が腫れたという報告があります。

接種後にお待ちの間にご覧ください

ワクチンを接種した方へ ワクチン接種後の注意



接種後は15~30分程度、接種医療機関（会場）の施設内などでお待ちください。これは、急に起こる体調異常にすみやかに対応するために重要です。

途中で体調に異常を感じた場合は、ただちに、近くの医師、看護師などに連絡してください。

「接種直後、以下の症状に注意してください」

□ ショック、アナフィラキシー

接種直後～通常30分以内に起こる重大なアレルギー反応です。本ワクチン接種後にもあらわれたとの報告があります（頻度不明）。

<主な症状>

全身：冷汗が出る、ふらつき	頭部：めまい、意識の消失
顔面：顔面蒼白（そうはく）	口や喉：喉のかゆみ
胸部：動悸（どうき）、息苦しい	手・足：手足が冷たくなる
皮膚：全身のかゆみ、じんま疹	

□ 血管迷走神経反射

接種に対する緊張や痛みなどをきっかけに誰でも起こりうる体の反応です。通常、横になって休めば自然に回復します。

<主な症状>

立ちくらみ・血の気がひく・気を失う（失神する）

「接種日以降、以下の副反応に注意してください」

□ 心筋炎、心膜炎

以下のような症状があらわれた場合は、心筋炎や心膜炎が疑われます。すみやかに医師の診察を受け、本ワクチンを接種したことを伝えてください。

<主な症状>

胸の痛み・動悸（どうき）・むくみ・息切れ・浅くて速い呼吸 など

□ 心筋炎・心膜炎以外の主な副反応

注射部位症状：注射した場所の痛み・腫れ（硬さ）・発赤・紅斑、
注射した同じ腕側のリンパ節（わきの下あたり）の痛み・圧痛・腫れ
全身症状：発熱、頭痛、疲労、筋肉痛、関節痛、はき気・嘔吐、悪寒

これらは、本ワクチン接種により発現する副反応のすべてではありません。接種後、ふだんと変わったことがあった場合は、医師に相談してください。

「接種後の過ごし方」

□ 副反応の発現に注意する。

異常な症状（高熱やけいれんなど）があれば、すみやかに医師の診察を受ける。

□ 注射した部分は清潔に保つ。

□ 接種当日の入浴に特別な問題はないが、接種当日を含め、接種後に体調がすぐれない場合は無理をせず様子を見る。また、注射した部分を強くこすらないようにする。

□ 接種当日の激しい運動は控える。

このほかにも接種後の注意事項があります。必ず、5～7ページをご覧ください。